

予洗い水栓 “プレパシュー+”

Y49型

施工説明書

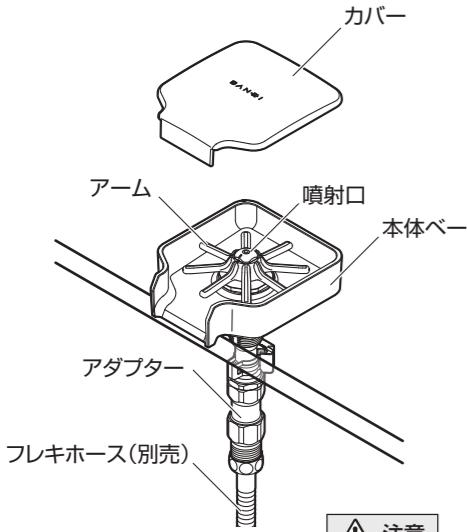
※上記の品番は、代表品番です。品番を確認する場合は、取扱説明書 保証とアフターサービスを参照してください。

- 施工の前にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
- 施工後、保証書に販店名ならびにお取付け年月日をご記入のうえ、この説明書をお客様へお渡しください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。

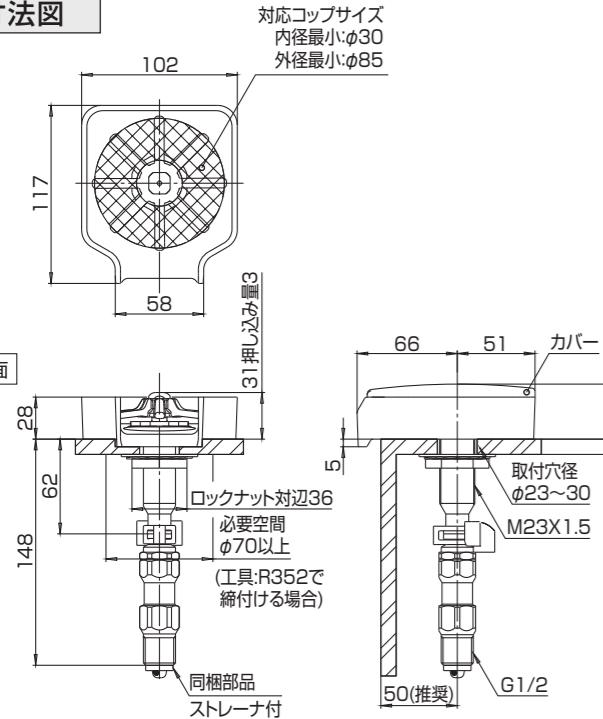
本製品について 各部の名称・寸法図

- 本製品は、コップやボトルなどをアームに押し当て、内部の汚れを取り除く予洗い専用水栓です。予洗いで取れない汚れは、洗剤などを使用して手洗いを行ってください。
- 使用しないときは付属のカバーを設置できるので、安全かつ衛生的です。

各部の名称



寸法図



施工について 施工に関する安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、重大な結果（傷害・物損）に結び付くおそれがあります。安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、試験運転を行い異常がない事を確認すると共に、工事店様は説明書に沿ってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- 施工は、水道法、その他の関係する法規などに従って行ってください。

用語および記号の説明

- | | |
|--------|----------------------------------|
| △ 警告 | 「取扱いを誤った場合に、死亡または重症を負うおそれがあります。」 |
| △ 注意 | 「取扱いを誤った場合に、軽傷または物損のおそれがあります。」 |
| 🚫 「禁止」 | 🚫 「分解禁止」 |
| | ⚠ 「指示を守る」 |

△ 警告

修理技術者以外の人は、水栓本体内部を分解しないでください。
故障や水漏れの原因になります。

同梱の部品以外は使用しないでください。
故障や水漏れの原因になります。

ストレーナ付パッキンの掃除をする際は、必ず止水栓を開めてから行ってください。
水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

通水温度は45°C以下で使用してください。
45°Cより高温でご使用になると、やけどをしたり、器具の寿命が短くなつて水栓が破損し、水漏れのため家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

△ 注意

製品に強い力や衝撃を与えないでください。
故障や水漏れの原因になります。

取付穴周囲に段差がある場所には、取付けないでください。
正しく施工できなくなるおそれがあります。また、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

凍結が予想される場所には、取付けないでください。
凍結破損で部品が破損し、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

凍結のある場合は、配管部などに保温材を巻くなどして凍結を予防してください。
部品が破損し、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

本体ベースが後方に傾かないように設置してください。
排水ができなくなり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

本体ベースの先端はシンク空間に飛び出すように設置してください。
排水ができなくなり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

施工について 適切な使用条件

〔水圧について〕

給水・給湯圧力	最低必要水圧(流動時)	最高使用水圧(静止時)
	0.10MPa	0.50MPa

- 推奨圧力範囲は0.10~0.30MPaです。
- 給水・給湯圧力が0.50MPaを超える場合は、SANEI品番:V7110-1-13(ミニ減圧弁)や市販の減圧弁などで推奨圧力範囲内に減圧してください。

〔流量について〕

流量	4L/min
----	--------

- 本製品には4L/minの定流量コアが搭載されています。

〔給水温度について〕

使用最高温度	45°C以下
--------	--------

- 高温で使用した場合、予洗いするコップなどが破損・変形するおそれがあります。

〔水質・用途について〕

使用可能水質	水道水及び飲用可能な井戸水
--------	---------------

用途	一般住宅用(屋内用)
----	------------

- 本製品は、キッチンに設置・使用する予洗い専用の水栓です。
飲用には使用しないでください。

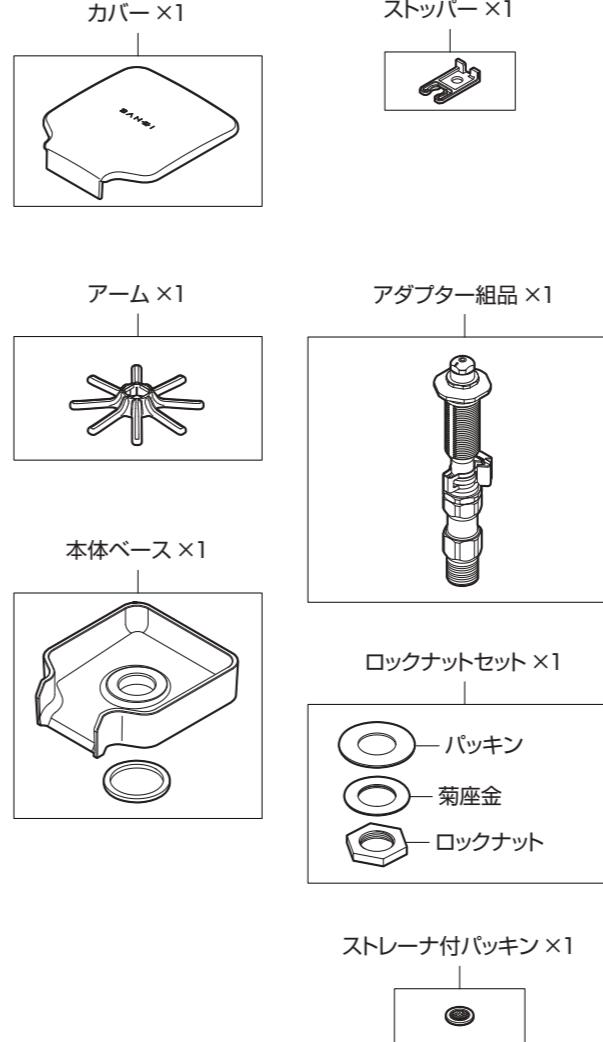
施工について 施工前のご注意

- 施工者様へ
加飾製品の表面は塗装がはがれやすいため、必ず柔らかい布などで製品表面を保護して作業を行ってください。

- 給水は、上水道に接続してください。
- 取付後の保守点検のために必ず止水栓(別売)と点検口を設けてください。
- 止水栓は、ストレーナ付をおすすめします。
- 開梱、施工の際は製品に傷をつけないよう注意ください。
- 配管内のシールテープくずやゴミをきれいに取除き、必ず通水して配管内のゴミを完全に洗い流してください。

施工について 梱包明細

- 施工説明書・取扱説明書「保証書付」×各1



- 通水検査をしていますので水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

施工について 施工手順

主な工具類

- ナット締付工具：水栓取付足のロックナットをまわす時に必要です。



■ 使い古しのハブラシなど：

水栓のナットがまわせる工具。



■ 手袋：

ケガ防止のために着用してください。



■ ぞうきんなど：

配管中の残り水を拭ぐのに必要な工具

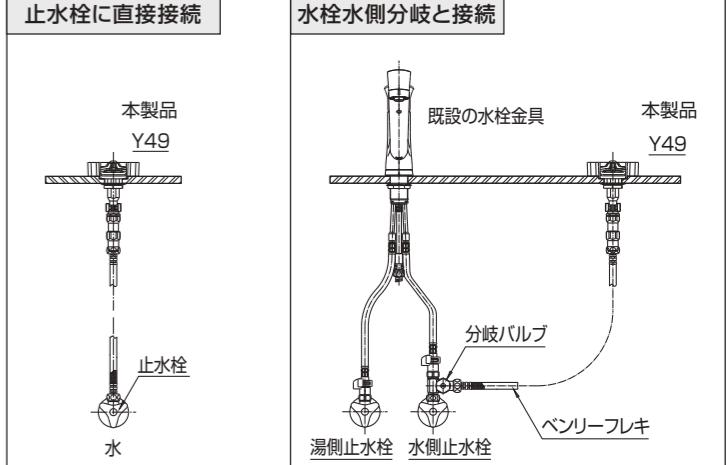
- マイナスドライバー



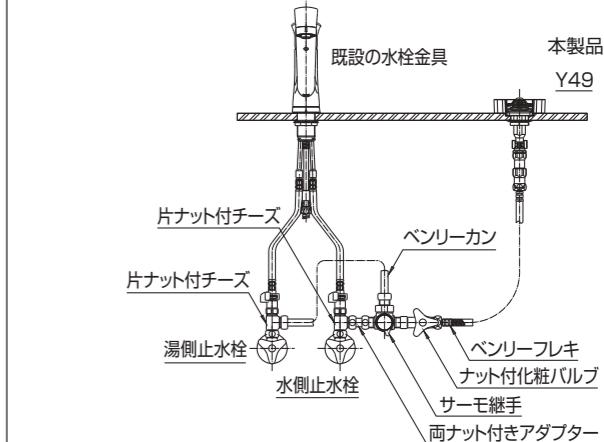
施工について 施工例

下記の施工例のように接続可能です。

止水栓に直接接続



サーモ継手を使用した接続

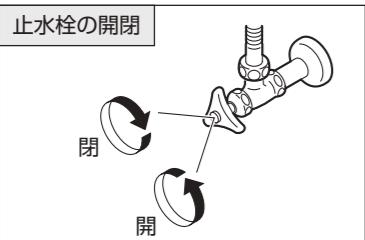


1 配管内の掃除をします。

注意

配管内のシールテープくずやゴミをきれいに取除き、必ず通水して配管内のゴミを完全に洗い流してください。

(止水栓の開閉は下記を参照してください。)
水栓金具内にゴミなどが混入すると止水不良や水栓の故障の原因となり、この場合には有償修理となります。

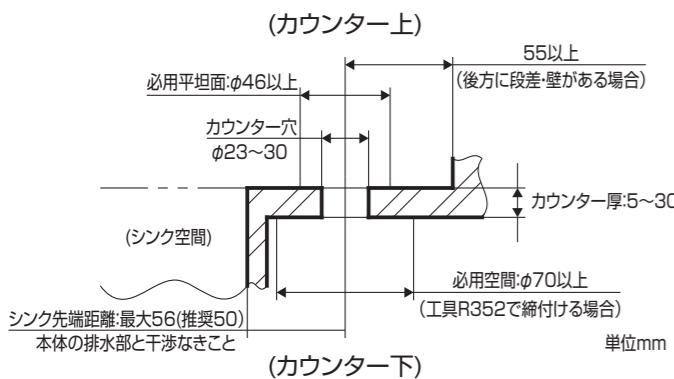


2 新しい水栓を取付けます。

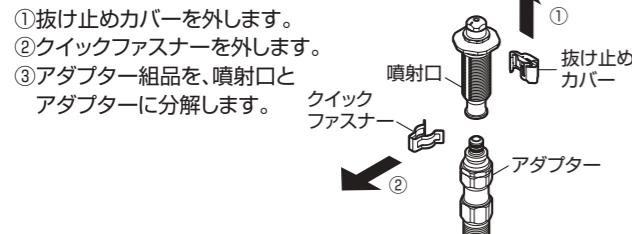
(1) カウンター周りの寸法を確認してください。

注意

- カウンターに厚みのない場合や、取付面が弱い場合は補強材などを設けてください。
- 本体ベースが後方に傾かないように設置してください。



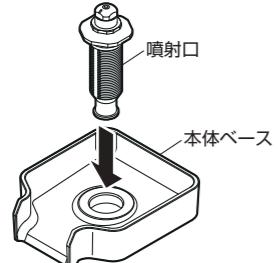
(2) アダプター組品を分解します。



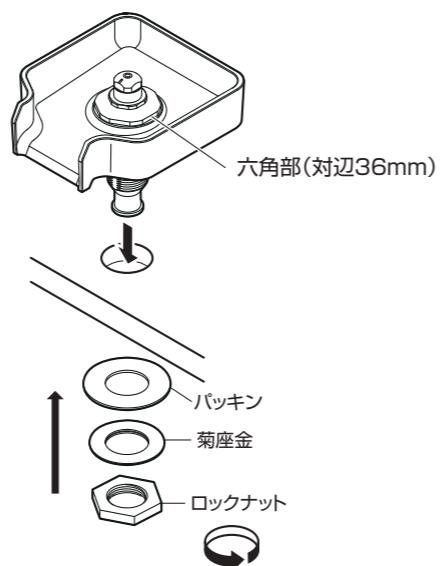
注意

- 噴射口及びアダプターのオーリングの傷、ゴミかみに注意してください。
- 抜け止めカバーは、クイックファスナー接続の際に必要なので、なくさないようにしてください。

(3) 本体ベースに噴射口を差し込みます。



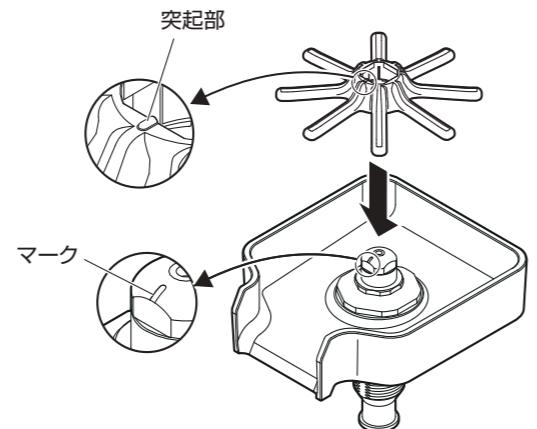
(4) カウンター穴に噴射口を入れて、カウンタ下側よりパッキン、菊座金を入れロックナットを入れます。
噴射口の六角部(対辺36mm)を保持して、ロックナットを締付けください。



(5) 噴射口にアームを取付けます。

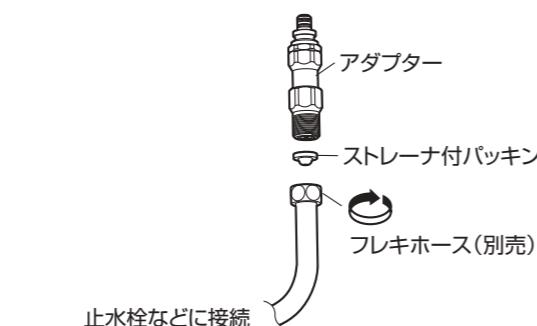
アドバイス

噴射口の□形状と、アーム内側の□形状を合わせて差し込みます。
噴射口のマークとアームの突起部の位置を合わせると、取付けやすくなります。

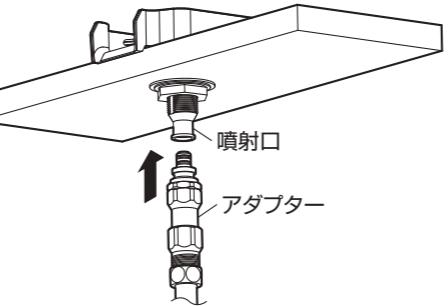


(6) アダプターを噴射口に取付けます。

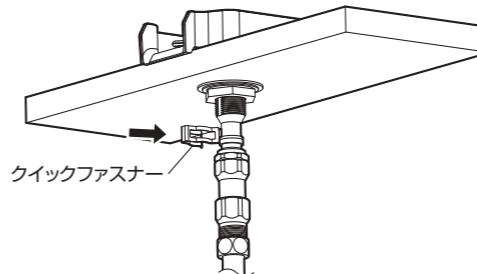
①アダプターをストレーナ付パッキンを使用して止水栓と接続します。



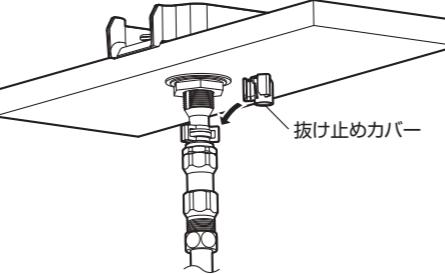
②アダプターを噴射口に差し込みます。



③クイックファスナーをアダプターと噴射口の接続部に取付けます。

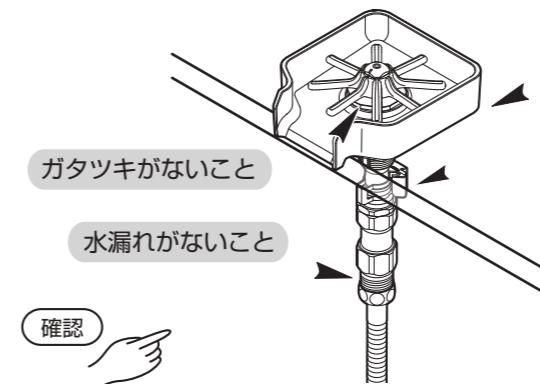


④抜け止めカバーをクイックファスナーに取付けます。



3 施工後、下記項目を点検してください。

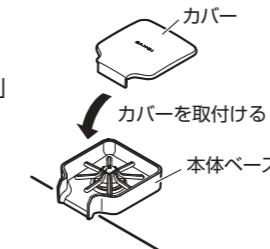
- ・各部にガタツキがないことを確認する。
- ・止水栓を全開にして、各部に水漏れがないことを確認する。



4 カバーを取付けます。

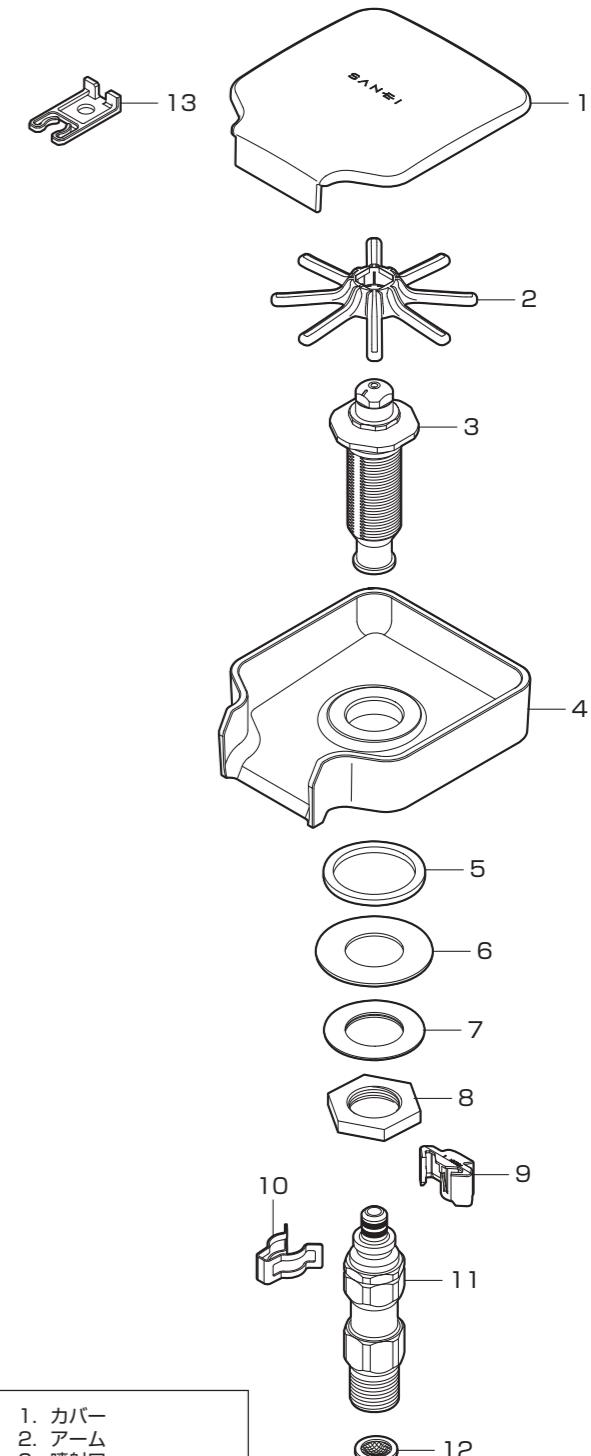
水漏れがないことを確認後、製品にカバーを設置してください。

カバー裏側にストップバーを取付ける場合は、取扱説明書「ご使用について」ストップバーの保管を参照ください。



こんなときは 本製品の構造

本製品の構造を表したイラストです。
構造をご理解いただくのにご使用ください。
※部品として注文いただける単位のものではありません。



SANEI 株式会社

〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号
お問い合わせ先 ☎ 0120-06-9721
受付時間 9:00~17:00(土日祝除く)

予洗い水栓 “プレパシュー+”

Y49型

取扱説明書

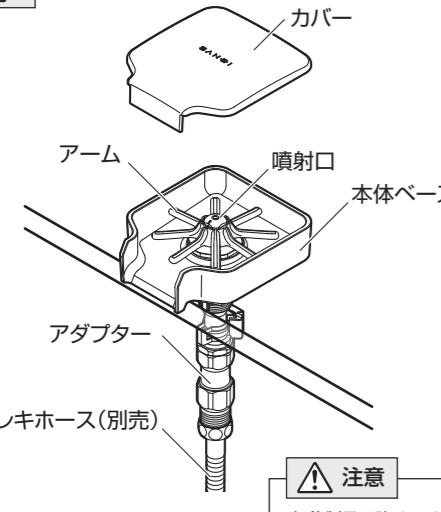
※上記の品番は、代表品番です。品番を確認する場合は、取扱説明書 保証とアフターサービスを参照してください。

- ご使用の前にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。
- 保証書にお買上げ（お取付け）年月日、販売店（工事店）名の記入のない場合はお買上げ（お取付け）の販売店（工事店）に申し出でていただくか、レシート又は領収書を貼付してください。

本製品について 各部の名称

- 本製品は、コップやボトルなどをアームに押し当てる、内部の汚れを取り除く予洗い専用水栓です。予洗いで取れない汚れは、洗剤などを使用して手洗いを行ってください。
- 使用しないときは付属のカバーを設置できるので、安全かつ衛生的です。

各部の名称



ご使用について ご使用に関する安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。
- いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

- △ 警告「取扱いを誤った場合に、死亡または重症を負うおそれがあります。」
- △ 注意「取扱いを誤った場合に、軽傷または物損のおそれがあります。」
- 🚫 「禁止」 ! 「指示を守る」 🚫 「接触禁止」 🚫 「分解禁止」

! 警告

小さいお子様だけのご使用は、避けてください。
やけど・けがをするおそれがあります。

分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。
器具が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れで家財などを濡らす財産損害发生のおそれがあります。

通水温度は45°C以下でお使いください。

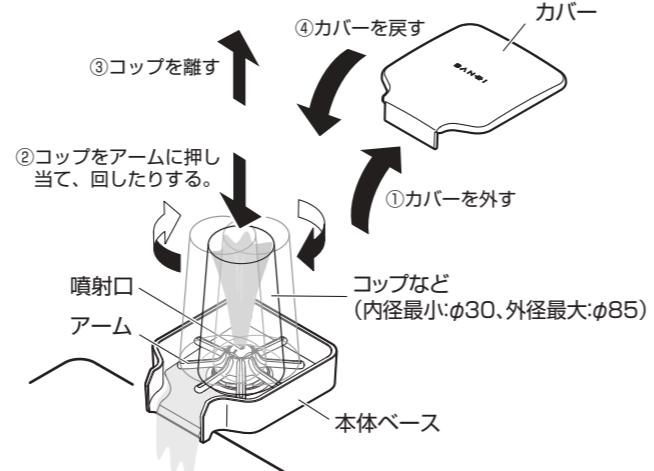
45°Cより高温でご使用になると、やけどをしたり、器具の寿命が短くなり水栓が破損し、水漏れのため家財などを濡らす財産損害发生のおそれがあります。

! 注意

- 本製品は、キッチンに設置・使用する予洗い専用水栓です。飲用には使用しないでください。
- 製品に強い力や衝撃を与えないでください。
故障や漏水の原因になります。
- 樹脂メッキ部品には、以下のことを行わないでください。
 - 銛利なものを当てる
 - 衝撃を与える
 - 落とす
 - メッキの表面が割れ、ケガをするおそれがあります。万が一メッキの表面が割れた場合は、早めに新しい部品に交換してください。
- コップなどの洗浄物を置かないまま、アームに触れないでください。
水または高温のお湯が空中に噴射され、やけどをしたり、家財などを濡らす財産損害发生のおそれがあります。
- 洗浄物はゆっくりアームに押し当てるください。
変形や破損で製品が正常に動作しなくなったり、洗浄物が破損し、けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害发生のおそれがあります。
- 製品に重いものを載せたり、力をかけて回したりしないでください。
変形や破損で製品が正常に動作しなくなったり、部品などが破損し家財などを濡らす財産損害发生のおそれがあります。
- 凍結のおそれがある場合は、凍結予防を確実に実施してください。
凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害发生のおそれがあります。
- 解氷機やアースを水栓に通電しないでください。
水栓が発熱で破損し、家財などを濡らす財産損害发生のおそれがあります。
- 定期的に、配管周りの水漏れや、ガタツキがないか確認してください。
劣化・摩耗などで部品が破損し、けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害发生のおそれがあります。
- 長期間使用しない時は、止水栓または配管中の元栓を開めてください。
水漏れなどの事故の原因になります。

ご使用について 使い方

- ①カバーを外します。
- ②アーム部分に、さかさまにしたコップなどをアームに押し当てると噴射口より水が出ます。必要に応じて、アームを押し込んだままコップを動かし、水の当たる位置を変化させてください。
- ③予洗いが終わったらアーム部分からコップを離してください。
噴射している水が止まります。
- ④使用後はカバーを戻してください。



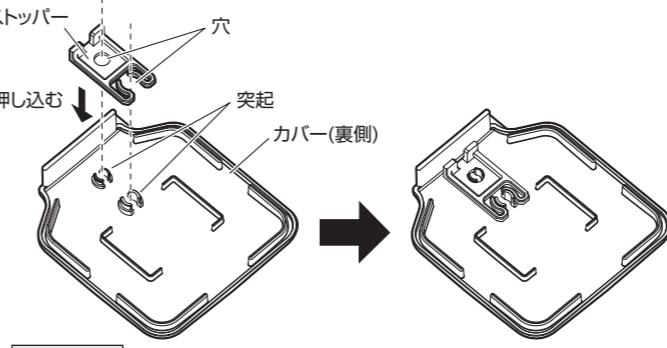
! 注意

- コップをアームに押し当てる際は、底付きまで押し当てるで使用してください。
- コップをアーム上で動かす際は、アームからはみ出ないようにしてください。
- 予洗い時に、コップなどを本体ベースに当てないように気を付けてください。

ご使用について スッパーの保管

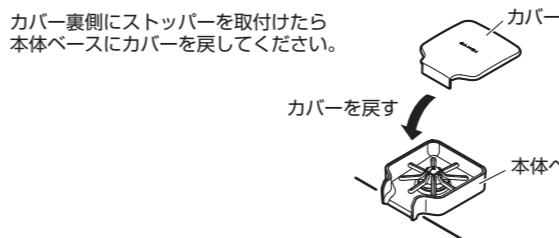
スッパーはカバーの裏側に取付けて保管できます。

下図のように、カバー裏側の突起部とスッパーの穴を合わせて押し込みます。



! 注意

- スッパーの向きを間違えないようご注意ください。



ご使用について 凍結予防

凍結のおそれがある場合は、次の処置によって凍結を予防できる場合があります。

- 配管部などに保温材を巻いてください。
- 屋内の窓を閉めるなどして水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。
- ※凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。



日頃のお手入れ 汚れの拭き取り

製品についた汚れを放置しておくと、汚れが落ちにくくなることがあります。
快適にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

- 柔らかい布で水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。
- 汚れが目立つときは、中性洗剤を柔らかい布にふくませて拭き取った後水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。

! 注意

- 中性洗剤以外は使用しないでください。
- お手入れする際は、次のものは絶対に使用しないでください。
酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類
※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコールなどの溶剤や油類
クレンザーなどの粒子の粗い洗剤
ナイロンたわし・メラミンフォームなど
製品の割れや変色変質の原因となります。

! 注意

- 洗剤・薬品が本体に付着した場合は、すぐにきれいに拭き取ってください。
製品の割れや変色変質の原因となります。

! 注意

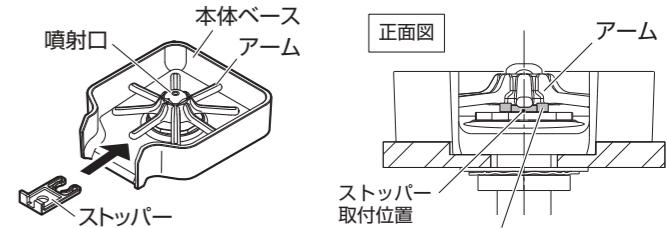
- 加飾製品は強くこすると、色落ちしたり、表面素材が剥がれるおそれがありますのでご注意ください。

日頃のお手入れ アーム・噴射口・本体ベースの掃除

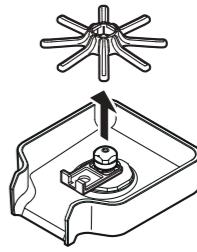
水に触れる箇所のお掃除が簡単にできます。
快適にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

アーム・噴射口・本体ベースの掃除

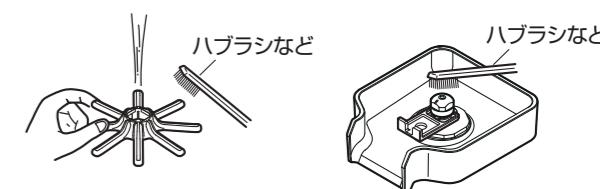
- ①スッパーを、正面からアームの下に取付けます。



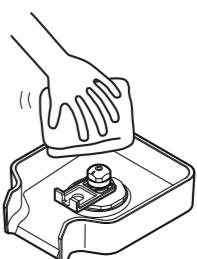
- ②アームを真上に引っ張ってはずします。



- ③ハブラシなどでアーム、噴射口などを掃除します。



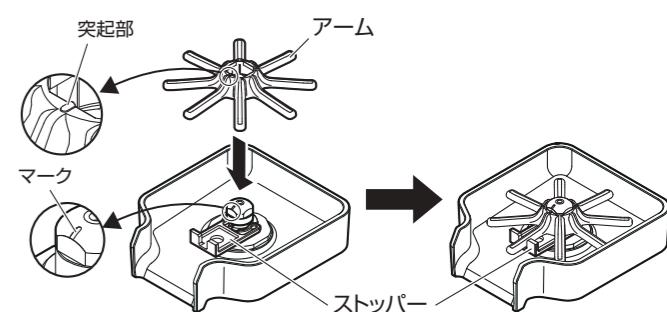
- ④本体ベースの内面は、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。



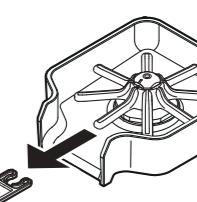
再使用時

逆の手順で組み直し、最後にスッパーをはずしてください。

- ①アームを取付けます。



- ②アームを押さないよう気を付けて、スッパーを取りはずします。

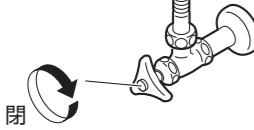


日頃のお手入れ ストレーナ付パッキンの掃除

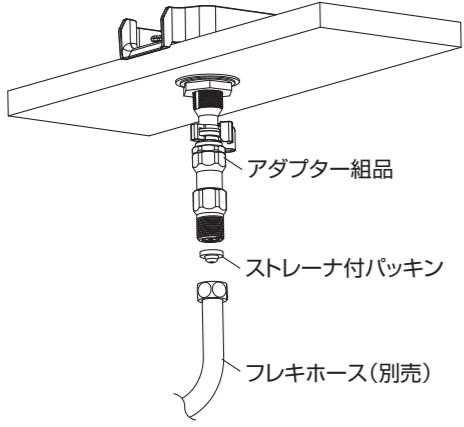
快適にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

ストレーナ付パッキンの掃除

①止水栓を回し止水します。



②アダプター組品からフレキホースをはずして、ストレーナ付パッキンを取り出します。



③ハブラシなどでストレーナ付パッキンを掃除します。



再使用時

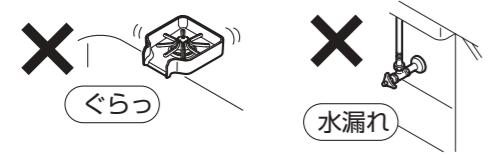
逆の手順で組み直してから、止水栓を開けて通水します。

注意
ストレーナ付パッキンの傷、ゴミかみに注意してください。

定期的な点検 配管周りの水漏れ・器具のガタツキ

定期的に、配管周りの水漏れや、器具のガタツキがないか確認してください。(年2回を目安)

劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



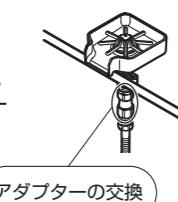
漏水を確認した場合は、止水栓または配管中の元栓を閉めてください。修理の依頼をされる場合は、「保証とアフターサービス」を参照してください。

定期的な部品交換 逆止弁の交換時期

逆止弁（アダプターに内蔵）の交換時期の目安：3~5年

万が一、逆止弁が正常に機能しない場合、状況によっては水栓から一度吐水した水が逆流するおそれがあります。

※交換時期は、使用環境などにより異なります。
※逆止弁の交換を依頼される場合は「保証とアフターサービス」を参照してください。



こんなときは 故障？ その前に

修理をご依頼される前に、次の表に従って点検してください。

現象	点検項目	処置
流量が少ない 吐水しない	止水栓は開いていますか。	止水栓で流量を調節する。
	ゴミ詰まりはありませんか。	噴射口・ストレーナ付パッキンの掃除をする。
	断水中ではありませんか。	復旧するまで待機してください。

以上の点検を実施されても、不具合がならない場合はお手数ですがお買上げの販売店（工事店）に修理をご依頼ください。

●修理される方は次の表に従って点検してください。

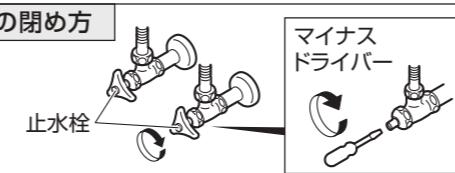
現象	点検項目
各接合部から水が漏れる	老朽化や使用環境により部品の劣化やゴミかみのおそれがあります。 各接合部からの水漏れの場合は、水漏れ箇所の部品を交換してください。
止水しても噴射口から水が漏れる	老朽化や使用環境により部品の劣化やゴミかみのおそれがあります。 噴射口を交換してください。

漏水した場合の処置

漏水した場合は、止水栓・分岐バルブまたは配管中の元栓を閉めてください。

止水栓・分岐バルブの閉め方

カウンターワーク下に止水栓や分岐バルブがある場合、ハンドルをまわして水を止めてください。



元栓の閉め方

元栓ボックス（メーターボックス）のふたを開け、元栓を右にまわして閉めます。

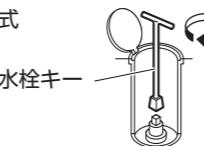
※元栓を閉める前に給湯機や洗濯機などの使用は止めてください。
※閉栓後は近くの水栓などで給水が止まっていることを確認してください。
※一部の地域では左まわしの場合はあります。

※元栓がどこにあるかわからない場合は、水道局にお問い合わせください。

戸建て住宅などの元栓ボックス：

主に玄関やガレージ付近の地面にあります。
古い戸建て住宅の場合は道路に円形のキー式ボックスがあつたりします。

●キー式



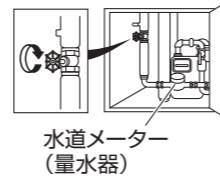
●ハンドル式



マンションなどの中高層住宅の元栓ボックス：

主に玄関を出た階段の踊り場に鉄の扉があり、電気やガスのメーターと共に水道メーターと元栓があります。

お隣と共通のボックス内で元栓の場所がわからない場合は、水道料金の検針票などで自分の水道メーター番号を確認してください。



定期的な点検 配管周りの水漏れ・器具のガタツキ

定期的に、配管周りの水漏れや、器具のガタツキがないか確認してください。(年2回を目安)

劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

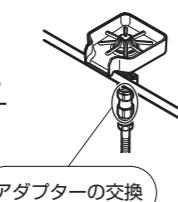
漏水を確認した場合は、止水栓または配管中の元栓を閉めてください。修理の依頼をされる場合は、「保証とアフターサービス」を参照してください。

定期的な部品交換 逆止弁の交換時期

逆止弁（アダプターに内蔵）の交換時期の目安：3~5年

万が一、逆止弁が正常に機能しない場合、状況によっては水栓から一度吐水した水が逆流するおそれがあります。

※交換時期は、使用環境などにより異なります。
※逆止弁の交換を依頼される場合は「保証とアフターサービス」を参照してください。



保証とアフターサービス

【保証について】

- この製品は保証書の内容にしたがって保証されています。
お買上げ（お取付け）年月日、販売店（工事店）名が記入してあることを確認してください。
- 保証期間中は保証書の規定にしたがって、修理をさせていただきます。
保証期間内でも有料になることがありますので保証書の内容をご確認ください。保証期間は保証書を確認してください。
- 保証期間を過ぎても修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

【水栓の定期的な点検・部品交換について】

水栓の性能を維持するために定期的な点検・部品交換が必要です。
摩耗劣化部品は、5年を交換の目安としておりますが、逆止弁については、より安全を考え、早め（3~5年）の点検・交換をおすすめします。
(交換時期は、使用環境などにより異なります。)

定期点検・部品交換

使用年数

1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12

お客様による日常のお手入れ・点検

摩耗劣化部品の交換

本書は、本書記載内容で無料修理させていただく事を約束するものです。

保証期間中に故障が発生した場合は、お買上げの販売店（工事店）にご依頼いただき、出張修理に際して本書をご提示ください。
お買上げ（お取付け）年月日、お客様名、販売店（工事店）名など記入もれがありますが無効となります。必ずご確認いただき、記入のない場合はお買上げ（お取付け）の販売店（工事店）に申し出ただくか、レシート又は領収書を貼付してください。
本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

品番は製品本体に貼っているシールをご確認ください。

保証期間	対象部品	期間（お買上げ日/お取付け日から）
本体	2ヵ年	年 月 日
お買上げ日（お取付け日）	お客様	お名前 ご住所 電話
販売店 工事店	店名 住所 電話	（ ）

見本

<無料修理規定>

ご依頼の前に再度、取扱説明書をお読みいただきご確認ください。

- 「取扱説明書」、「ラベル」などの注意書に従った正常な使用、維持管理状態で、保証期間中に故障した場合、無料修理いたします。
- ご転居、ご贈答品などで本保証書に記入の販売店（工事店）に修理を依頼できない場合は当社にご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - 使用、維持管理上の誤り及び不当な修理、改造による故障及び損傷
 - 温泉、中水、飲用不可な井戸水による故障及び損傷
 - お買上げ（お取付け）後の取付場所の移動及びそれに伴う落水などによる故障及び損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害など、その他の事故及び損傷の原因が製品以外にある場合
 - 電気製品における異常電圧、指定外の使用電源（電圧・周波数）及び外部ノイズなどに起因する不具合
 - 消耗部品の劣化に伴う故障及び損傷
 - 施工説明書などに基づかない施工、専門業者以外による移動・分解・改造などに起因する不具合
 - 建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）など製品以外の不具合に起因する製品の不具合及び表面仕上げ、色あせなどの経年変化又は使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の不具合
 - 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
 - ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合
 - 砂やごみ、給水・給湯配管の錆など異物流入及び水あかの固着に起因する不具合
 - 寒冷地仕様の製品で水抜きをされなかった場合や、寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障及び損傷
 - 本書の提示がない場合
 - 本書にお買上げ（お取付け）年月日、お客様名、販売店（工事店）名の記載がない場合、あるいは字句の書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- ★この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などにつきましてはお買上げの販売店（工事店）、または当社にお問い合わせください。
- ★補修用部品の保有期間にについて不明な場合は下記へお問い合わせください。

SANEI 株式会社

〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号

お問い合わせ先 ☎ 0120-06-9721

受付時間 9:00~17:00 (土日祝除く)

ホームページ www.sanei.ltd

●当社の修理および部品交換料金は「技術料」+「部品代」+「出張料」で構成されています。

「技術料」

診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用。

「部品代」

修理および部品交換に使用した部品代。

（無料修理で交換した古い部品・製品は当社の所有になります。）

「出張料」

製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用。

【部品のご購入や修理の依頼、ご相談は】

- まずは、お求めの販売店（工事店）へご相談ください。
ご不明な場合は当社までお問い合わせください。